



平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況(非連結)

平成20年2月8日

上場会社名 株式会社朝日ネット 上場取引所 東証一部
 コード番号 3834 URL <http://asahi-net.jp/>
 代表者 代表取締役社長 山本 公哉
 問合せ先責任者 代表取締役副社長兼コーポレート本部長 梅村 守 TEL (03)3569-3835

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第3四半期の業績(平成19年4月1日～平成19年12月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	4,129	2.7	970	0.0	977	4.6	566	4.6
19年3月期第3四半期	4,021	—	970	—	934	—	541	—
19年3月期	5,476		1,307		1,271		744	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第3四半期	17	44	—	—
19年3月期第3四半期	17	77	—	—
19年3月期	24	05	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
20年3月期第3四半期	7,778		7,214		92.7		222	08
19年3月期第3四半期	7,619		6,705		88.0		206	41
19年3月期	7,968		6,907		86.7		212	64

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び預金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第3四半期	85	△3,151	△269	3,163
19年3月期第3四半期	1,160	△174	841	6,369
19年3月期	1,340	△204	821	6,498

2. 配当の状況

	1株当たり配当金	
(基準日)	第3四半期末	
	円	銭
20年3月期第3四半期	—	—
19年3月期第3四半期	—	—

3. 平成20年3月期の業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日) 【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	5,940	8.5	1,430	9.4	1,420	11.6	820	10.2	25	24

4. その他

- (1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
(2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

〔(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕

※本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

業界の動向

I S P（インターネット・サービス・プロバイダー）業界におきましては、引き続きF T T H（光ファイバー）の利用者が増加しております。平成19年9月末時点の総務省の調査では、F T T H契約数が初めて1,000万を突破しております。

また、ここ2～3年ほぼ横ばいで推移していた価格が、今年度に入ってから他社I S Pが集合住宅向け光接続サービスの月額料金値上げを続々と実施するなど、新たな動きが見受けられました。

会員数の状況

平成19年12月末の会員数は、前年同期比10.1%増の405千人となりました。

第3四半期（10月～12月）は好調に推移し、会員の純増数は前年同期比58.9%増の11千人に達しました。なかでも、F T T Hに関しましては、会員数が前年12月末に比べて、44.7%の大幅増となる149千人となり、ブロードバンド会員比率は、前年12月末に比べて、4.0ポイント増の60.5%となりました。

退会率も大きく改善し、第3四半期で0.78%（前年同期比0.05ポイント減）、4月～12月の9ヶ月間では0.86%（前年同期比0.03ポイント減）となりました。

入会者増および退会率改善の背景としては、以下の要因があげられます。

①他社I S Pの値上げ

I S P業界では、今年度に入ってから、他社による集合住宅向け光接続サービスの値上げが続いております。こうした事業環境の中で、当社のプライスリーダーとしての優位性が更に高まっております。

②高い顧客満足度の維持

日経パソコン、日経マーケット・アクセスなどの調査などで、ここ数年間にわたって当社の顧客満足度は連続して総合第1位の評価をいただいておりますが、平成19年に行われたJ. D. パワーの顧客満足度調査でも総合第1位（光ファイバー）となったことで、当社サービスの品質や価格に関する認識が高まっております。

損益の状況

平成19年4月～12月の9ヶ月間における売上高は4,129百万円（前年同期比2.7%増）、営業利益は970百万円（前年同期比0.0%増）、経常利益は977百万円（前年同期比4.6%増）となり、税金費用を差引いた四半期純利益は566百万円（前年同期比4.6%増）と増収増益となりました。

4月～12月の9ヶ月間では（特に第3四半期には）、想定より多かった入会者に対するキャンペーン費用が増加しましたが、4月～12月の9ヶ月間の売上高営業利益率は23.5%と高い水準を維持しております。

業界での競争力が高まってきた中で、収益構造を維持しながら効果的に会員獲得を図り、中長期にわたり利益成長を加速させていける環境を整えております。

2. 財政状態に関する定性的情報

①当第3四半期末の財政状態

財政状態につきましては、総資産7,778百万円（前年同期比159百万円増加）、負債564百万円（前年同期比349百万円減少）、純資産7,214百万円（前年同期比509百万円増加）となりました。総資産の増加の主なものは、売上債権の増加によるものであり、負債の減少の主なものは、未払金及び未払法人税等の減少によるものであります。

②当第3四半期におけるキャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純利益が973百万円となりましたが、法人税等の支払額が771百万円あったこと等により85百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の預入による支出が3,000百万円あったこと等により3,151百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額が259百万円あったこと等により269百万円の支出となりました。

この結果、現金及び現金同等物の当四半期末残高は3,163百万円となり、前期末に比べて3,334百万円減少しました。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成20年3月期の業績予想につきましては、平成19年5月8日の決算発表時の業績予想から変更しておりません。

今後も、競争力のある価格設定や高い満足度の維持などによって、引き続き入会者の増加傾向は続くものと予想しております。特に、本格的な引越シーズンとなる第4四半期には、従来以上の会員増を見込んでおります。

また、平成20年2月には、教育機関向けSNS「マナバ」を首都大学東京に導入することが決定いたしました。今中間期には立命館大学大学院、朝日新聞社に、第3四半期には、実践女子学園、慶應義塾大学教職課程にも納入しており、今後の成長エンジンと位置づけている「マナバ」の事業展開が着実に進んでおります。

4. その他

- (1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用
税金費用の計算につきましては、簡便法によっております。
- (2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更
該当事項はありません。

5. (要約) 四半期財務諸表

(1) (要約) 四半期貸借対照表

(単位：千円、%)

科 目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第3四半期末)	増 減		(参 考) 前期末 (平成19年3月期末)
	金額	金額	金額	増減率	金額
(資産の部)					
I 流動資産					
1. 現金及び預金	6,369,530	6,163,108	△206,422	△3.2	6,498,089
2. 売掛金	743,412	1,030,592	287,180	38.6	920,822
3. たな卸資産	8,870	16,632	7,761	87.5	5,900
4. その他	54,042	140,579	86,536	160.1	108,203
貸倒引当金	△1,371	△1,470	△99	7.2	△1,408
流動資産合計	7,174,485	7,349,442	174,957	2.4	7,531,607
II 固定資産					
1. 有形固定資産	274,718	230,642	△44,076	△16.0	258,101
2. 無形固定資産	28,222	33,942	5,719	20.3	34,269
3. 投資その他の資産	141,584	164,806	23,221	16.4	144,238
固定資産合計	444,525	429,391	△15,134	△3.4	436,609
資産合計	7,619,010	7,778,833	159,822	2.1	7,968,217
(負債の部)					
I 流動負債					
1. 買掛金	130,570	136,252	5,681	4.4	123,417
2. 未払金	405,565	214,639	△190,925	△47.1	301,757
3. 未払法人税等	283,414	124,172	△159,241	△56.2	489,737
4. 販売促進引当金	64,098	49,058	△15,039	△23.5	109,040
5. その他	30,287	40,408	10,121	33.4	36,542
流動負債合計	913,935	564,532	△349,403	△38.2	1,060,496
負債合計	913,935	564,532	△349,403	△38.2	1,060,496
(純資産の部)					
I 株主資本					
1. 資本金	630,480	630,480	—	—	630,480
2. 資本剰余金	780,808	780,808	—	—	780,808
3. 利益剰余金	5,293,785	5,803,048	509,262	9.6	5,496,469
4. 自己株式	—	△36	△36	—	△36
株主資本合計	6,705,074	7,214,300	509,226	7.6	6,907,721
純資産合計	6,705,074	7,214,300	509,226	7.6	6,907,721
負債純資産合計	7,619,010	7,778,833	159,822	2.1	7,968,217

(2) (要約) 四半期損益計算書

(単位：千円、%)

科 目	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	増 減		(参 考) 前期 (平成19年3月期)
	金額	金額	金額	増減率	金額
I 売上高	4,021,679	4,129,584	107,905	2.7	5,476,405
II 売上原価	2,176,694	2,183,033	6,338	0.3	2,925,126
売上総利益	1,844,984	1,946,551	101,567	5.5	2,551,278
III 販売費及び一般管理費	874,607	975,810	101,203	11.6	1,243,572
営業利益	970,377	970,741	363	0.0	1,307,706
IV 営業外収益	4,394	16,111	11,717	266.6	8,275
V 営業外費用	40,106	9,298	△30,807	△76.8	43,988
経常利益	934,665	977,554	42,889	4.6	1,271,993
VI 特別損失	1,078	15	△1,063	△98.6	8,916
税引前四半期(当期) 純利益	933,587	977,539	43,952	4.7	1,263,077
税金費用	392,106	411,080	18,973	4.8	518,913
四半期(当期)純利益	541,480	566,458	24,978	4.6	744,164

(3) (要約) 四半期株主資本等変動計算書

前年同四半期(自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)

	株主資本					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
平成18年3月31日残高(千円)	152,780	303,108	4,841,810	—	5,297,699	5,297,699
当四半期の変動額						
新株の発行	477,700	477,700	—	—	955,400	955,400
剰余金の配当	—	—	△89,505	—	△89,505	△89,505
四半期純利益	—	—	541,480	—	541,480	541,480
当四半期の変動額合計(千円)	477,700	477,700	451,975	—	1,407,375	1,407,375
平成18年12月31日残高(千円)	630,480	780,808	5,293,785	—	6,705,074	6,705,074

当四半期(自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)

	株主資本					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
平成19年3月31日残高(千円)	630,480	780,808	5,496,469	△36	6,907,721	6,907,721
当四半期の変動額						
剰余金の配当	—	—	△259,879	—	△259,879	△259,879
四半期純利益	—	—	566,458	—	566,458	566,458
当四半期の変動額合計(千円)	—	—	306,579	—	306,579	306,579
平成19年12月31日残高(千円)	630,480	780,808	5,803,048	△36	7,214,300	7,214,300

前期(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

	株主資本					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
平成18年3月31日残高(千円)	152,780	303,108	4,841,810	—	5,297,699	5,297,699
当期の変動額						
新株の発行	477,700	477,700	—	—	955,400	955,400
剰余金の配当	—	—	△89,505	—	△89,505	△89,505
当期純利益	—	—	744,164	—	744,164	744,164
自己株式の取得	—	—	—	△36	△36	△36
当期の変動額合計(千円)	477,700	477,700	654,659	△36	1,610,022	1,610,022
平成19年3月31日残高(千円)	630,480	780,808	5,496,469	△36	6,907,721	6,907,721

(4) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

区分	前年同四半期 (平成19年3月期第3四半期)	当四半期 (平成20年3月期第3四半期)	(参 考) 前期 (平成19年3月期)
	金額	金額	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前四半期(当期)純利益	933,587	977,539	1,263,077
減価償却費	110,901	117,249	161,539
貸倒引当金の増加額	255	62	292
販売促進引当金の増加額(△減少額)	15,248	△59,981	60,191
受取利息及び受取配当金	△582	△15,773	△4,306
売上債権の増加額	△134,128	△109,770	△311,538
たな卸資産の増加額	△6,496	△10,731	△3,527
仕入債務の増加額(△減少額)	205,805	△32,571	94,349
その他	26,630	△18,425	63,842
小計	1,151,220	847,597	1,323,919
利息及び配当金の受取額	582	9,585	4,306
法人税等の支払額	△116,314	△771,318	△113,378
法人税等の還付額	125,342	—	125,342
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,160,832	85,864	1,340,190
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金の預入による支出	—	△3,000,000	—
有形固定資産の取得による支出	△159,547	△116,867	△184,119
無形固定資産の取得による支出	△7,698	△13,093	△12,199
その他	△6,806	△21,707	△8,531
投資活動によるキャッシュ・フロー	△174,052	△3,151,668	△204,850
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
配当金の支払額	△89,505	△259,879	△89,505
株式の発行による収入	952,056	—	951,878
その他	△20,637	△9,298	△40,461
財務活動によるキャッシュ・フロー	841,913	△269,177	821,911
IV 現金及び現金同等物の増加額(減少額)	1,828,693	△3,334,981	1,957,252
V 現金及び現金同等物の期首残高	4,540,837	6,498,089	4,540,837
VI 現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	6,369,530	3,163,108	6,498,089

6. 販売の状況

販売実績

(単位：千円、%)

区 分	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	増 減		(参 考) 前期 (平成19年3月期)
	金額	金額	金額	増減率	金額
インターネット接続サービス	3,116,523	3,158,764	42,240	1.4	4,251,877
インターネット関連サービス	790,890	795,698	4,807	0.6	1,050,295
その他	114,264	175,122	60,857	53.3	174,233
合計	4,021,679	4,129,584	107,905	2.7	5,476,405